

川口けいすけの任期総括

初当選以来12年間、これまで全ての定例会で一般質問を行ない、現状の問題点を指摘し、新たな提言を行ってまいりました。更に、「お金がない時こそ仕組づくりを」と訴えて参りました。そして必ず議会後にはこの紙面を通して皆様に報告させていただきました。様々な課題の改善の結果できた財源を教育や福祉に振り分け、より多くの皆様が暮らしやすい川越市にするために、今後も努力して参ります。

以下は、これまで議場で取り上げた主なテーマです。(詳細、その他は川口啓介のホームページをご覧ください。)

行財政改革・・・これまで議場で取り上げられなかった問題もしっかり指摘！

電力受注契約の見直しが実現！ グリーンス川越の掲載番号 50 55 59 63号 ←	東京電力との随意契約を止め競争入札にし、多くの公共施設で新電力(PPS)と契約。年間1億円以上のコスト削減！サービスの質を落とさず経費削減に成功！川越市中期財政計画にあるランニングコスト削減の項目で、26年度唯一の記載が電力受注契約の見直し！
外部評価制度の導入が実現！ 42 51号	事業担当課が自ら事業評価している内部評価制度が機能していないことを指摘。外部の第三者による評価制度を提言し実現！（8年前は必要性を認めたとこまで。）川越市中期財政計画にある事務事業の見直しの項目で26・27年度取り組みとして唯一の記載が外部評価制度の導入！
外郭団体改革 実行中！ 39 45 57 63 77号	多額の税金をつぎ込んでいる団体であり、これまで触れられてこなかったこの問題にメス！5度に渡り指摘・提言。現在も改革実行中ですが、必要性を感じる限り継続！
予算編成過程の公開が実現！ 43 53号	これまでは、予算が決まった後に公開されるのが当たり前で、予算の編成過程はまさにブラックボックス。しかし、決まってから知らされても遅い。これまで川越市では公開を検討したこともなかったが、現在はその多くが公開。
業務委託契約システムの構築が実現 36 56 57号	川越市には市内全体の業務委託を把握するシステムがありませんでした。安易な随意契約もあり、契約の透明性、公平性の向上のために、このシステム作りを急ぐ必要があると指摘・提言し実現！（8年前は研究の意向を示したところまで。）今後は毎年契約の見直しが行われる予定。
非常勤行政委員の報酬について 48 60号	勤務実態に合う報酬の支給方法をと問題提起！8年前、市長は速やかに検討したいと答弁。が、検討までに4年。検討の結果、市長は現状を肯定。
職員の電話&窓口対応マニュアル作成を提言 62号	電話では、たらい回しにされる、用件を何度も言わされる、名乗らない、窓口では、口調が横柄、相手によって態度を変える等の指摘も多いため、電話や窓口の対応マニュアルの作成等を提言。一部実現。
補助金適正化ガイドラインの策定を提言 66号	年間60億にもなる補助金交付の、検証が不十分と指摘、適正化ガイドラインの策定を提言。→補助金交付全体を見直すのに有効で検討したい。
業務継続計画の早期策定の必要性を指摘！ 72号	業務継続計画は、行政も被災している災害時に非常時優先業務を特定し、対応手順を定めたもの。27年3月議会で提言→29年2月に策定済。
上記以外	【クレジットカード納税の導入を提言！→検討】 【幼老複合施設の設置を提言→検討】 【企業誘致の方向性を三度確認→三度目で示される】 【共同調達でコスト削減を提言→検討】 【PFI事業の検証を提言→検証の重要性を認めるに止まる】 【庁用車の適正管理を提言→検討】

議会改革・・・4年前からの主な変化 *：こちらは川越市議会全体での取り組みです

★川越市議会災害対策支援本部の設置 ★議員倫理条例策定会議を設置 ★市議会HPをリニューアル
★川越市議会公式ツイッター&フェイスブックを開設 ★政務活動費の使途に関わるガイドラインをHPで公開
★議会だよりに関するアンケート調査を実施 →その後、議会だよりをリニューアル ★一般質問を対面方式に変更
◎ 私の会派の政務活動費は、この紙面上(53・57・61・65・69・73号)で報告。(領収書は議会事務局で閲覧可)

